

ほうどうじ 宝幢寺と もみじ公園

－宝幢寺とは、どのような寺院なのか－



明治30年頃のもみじ公園 写真提供：佐伯和雄氏

もみじ公園の池周辺には、ツツジやモミジなどさまざまな樹木がみられ、訪れる人たちの憩いの場になっています。もみじ公園と公園内にある清風荘は、以前は「ほうどうじ宝幢寺」という寺院の一部でした。

『やまがたけんめいしょうし山形県名勝誌』(明治41年 山形県発行)には、「ほうどうじ宝幢寺庭園」の写真と解説文が載っており、庭園について、市内には神社仏閣の庭園がたくさんあるなかで、特に清く秀でた庭園は宝幢寺の庭園とほうしょうじ法祥寺の庭園である、と記されています。

「ほうどうじ宝幢寺」とは、どのような寺院なのでしょう。

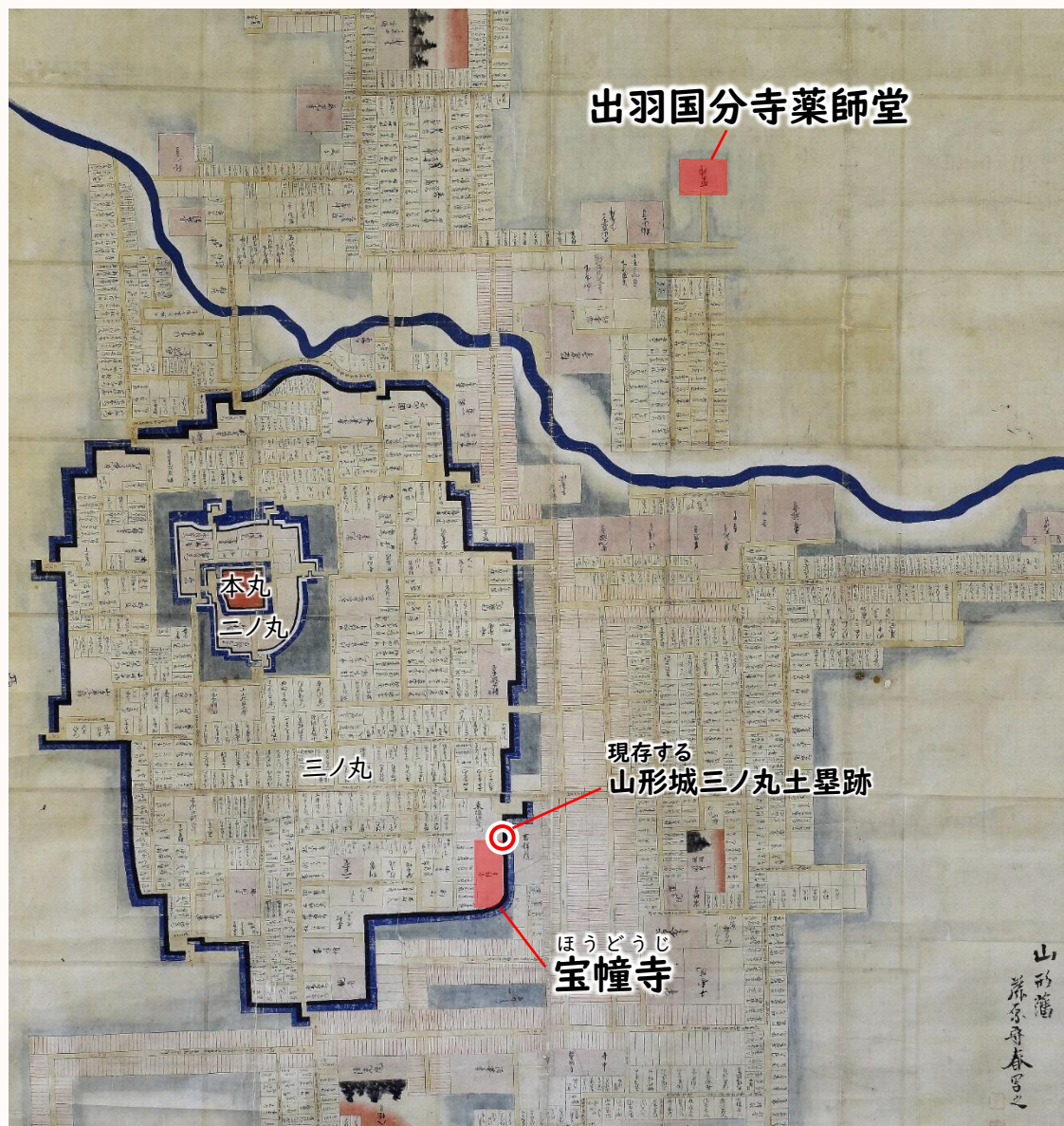
ほうどうじ
宝幢寺の創建については、その時期、
場所ともに詳細は明らかではありません
が、その始まりの時期については、奈良時
代(西暦 700 年代の初め頃)に、山形市
西部の滝平たきのひらに開かれたと伝えられます。

その後、約 650 年後の南北朝時代にな
ると、山形城の初代城主となる斯波兼頼しばかねより
が、延文2年(1357)、山形城内に宝幢寺
を祈願所として移し(詳細な場所は不明)、
山城国やましる(現京都府)伏見醍醐寺ふしみだいごじの僧道助どうじょ
を招き初代住職とし、寺院の名前を
摩訶伽羅山まかきゃらさん(大黒天のこと)宝珠院宝幢寺ほうじゅいん

と称したとされています。

戦国時代の天正 12 年(1584)秋、山形
城主最上義光もがみよしあきが天童氏との戦いに勝利し、
宝幢寺の住職尊海そんかいが行った祈祷くりきの功力が
大きかったとして、新たな土地を与えまし
た。

宝幢寺は 1,370 石という広い寺領(土
地)を持ち、(江戸時代の軍記物『天童軍
記』、『天童落城記』、『義光物語』など)
最上氏の祈願寺として大きな役割を果た
していきます。



最上氏時代山形城下絵図〔正式名称「最上家在城諸家中町割図」〕(山形県立図書館蔵)に加筆

宝幢寺の場所が確認されるのは、最上義光の時代になってからです。

最上義光やその孫家信(義俊)の時代の山形城下絵図によると、山形城三ノ丸の南東部(現在の第二公園付近)に宝幢寺が描かれています。(「最上氏時代山形城下絵図」など)

最上氏ののちに山形城主となった鳥居^{とりい}氏の時代以後に、宝幢寺は山形城の外、現在のもみじ公園を含んだところに移されました。その後、寛文2年(1662)、

山形城主^{まつだいらただひろ}松平忠弘の時に宝幢寺の庭園が改築され、この時にもみじ公園の原型ができたと考えられます。

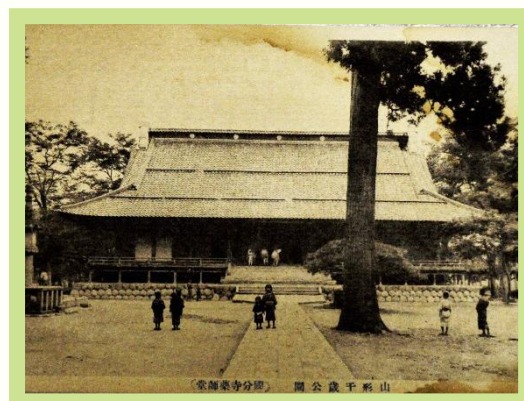
この頃の宝幢寺は、出羽国内に所在する真言宗^{しんごんしゅう}寺院の末寺・門徒^{まつじ もんと}32カ寺を支配する惣録寺^{そうろくじ}となります。(「最上宝幢寺門末帳」)また、最上義光から拝領した寺領(土地)は鳥居氏以後、江戸幕府から同じ^{やまがたふうりゅうまつのみまくら}広さの寺領を拝領し、(『山形風流松木枕』など)山形藩主歴代の祈願寺としての役割を果たし続けました。



正保城絵図(出羽国最上山形城絵図)(国立公文書館蔵)に加筆 正保元年(1644)

明治時代に入り、明治政府による神社と寺院を分離する「しんぶつはんぜんれい神仏判然令」や土地を取り上げる「じょうち上地令」により、明治3年(1870)、宝幢寺は廃寺となりました。それでも建物の多くは解体されることなく、本堂や書院などは残されました。本堂は、明治16年(1883)に山形県会議事堂が出来るまで、県の議事堂として使用されました。

その後、明治44年(1911)5月、山形市の中心部から北部にかけて起こった大火、山形市北大火で薬師公園内にある国分寺薬師堂、県庁舎や議事堂が焼失すると、翌年、宝幢寺の本堂は、薬師堂の本堂として薬師公園内に移されました。そして、大正5年(1916)に県庁舎(今の文翔館)と県会議事堂ができるまで、再び仮の県会議事堂として利用されました。この時移築、一部改修された薬師堂は、今もその姿を見ることができます。



移築後の薬師堂

山形市所蔵

現在のもみじ公園の場所に残った書院と庭園は、昭和31年(1956)に山形市の公園となりました。池付近の庭園は憩いの場として開放され、書院は一部改装し「清風荘」として市民に活用されています。

もみじ公園の東南方、宝幢寺墓所跡の一角〔現東原共同墓地〕には、歴代の宝幢寺住職をまつるれいびょう霊廟があり、また、宝幢寺ゆかりのせきとう石塔が建っています。これらは、山形城下の大寺、宝幢寺をしのぶ数少ない遺構・遺跡になっています。

(山形市文化財保護委員 野口一雄)

関連
情報

山形城内にあった宝幢寺の近くの文化財

山形城三ノ丸土塁跡

山形市公式ホームページで、詳しい情報をご覧ください。また、詳しい紹介をやまがたクリエイティブシティセンターQ1の文化財展示室にて展示しています。

ホームページで確認した情報を活用して市内を散策してみませんか。



三ノ丸土塁跡の
ホームページは
コチラから▶



文化財展示室の
ホームページは
コチラから▶



令和5年2月1日発行

発行：山形市企画調整部文化振興課

〒990-8540 山形市旅籠町 2-3-25

TEL023-641-1212(代表)

ホームページに
PDF データを
掲載しています▶



山形市清風荘



検索